



みらいを創る

園芸

吉田南支店管内

濱田 あつ子さん(64歳)

結婚して42年。喧嘩をしたことがないほどの仲よしご夫婦。軟弱野菜生産部会（優う良）の会員として、安心・安全な小松菜をご主人の昭夫さん（65歳）と栽培しています。

夏場はキュウリやパプリカを作り、年間を通して消費者に喜ばれる美味しい野菜作りに取り組んでいます。

就農して16年ほど。もともと農業をしていた父親が78歳の時「もう年だから2年ぐらいしたら農業をやめる」と後継者問題が浮上した時に昭夫さんが後継者となり、2年かけて農業のノウハウを学び野菜作りを受け継ぎました。

それから2年後、あつ子さんも長年勤めていた病院の事務長を退職して、夫婦二人三脚での農業がスタートしました。野菜作りは楽しい。日々追われているけれど自分が育てた野菜が大きくなり、消費者の方から美味しいと言われることが次の野菜作りに繋がっています。

現在、農業をしながら県経済連野菜部会の女性部長を務めるなど、多忙な毎日をごしています。時々、女性部の会議などがある時は、農作業↓会議↓農作業とタイトなスケジュールをこなしていますが、体がふたつあったらいいのになって時々思います。

パワー全開で日々の仕事をこなすあつ子さんのパワーの源は「夫婦仲良く2人

で冗談を言いながら頑張っているからでしょうね」と話していました。

今後は現状維持で野菜を作りたい。土地を増やすのではなく、今あるハウスを有意義に使って色々な野菜を作りたいと思います。

消費者の方へ農家の人たちが頑張つて安心・安全な野菜を作っているのだから、たくさん食べてほしいです。

